

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望する全員の正社員化を。

ゆとり、均等待遇

なにより差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利！

# 全員参加で大会を成功させよう

# 未来



全労協・郵政産業労働者ユニオン長崎中郵支部機関紙「みらい」NO. 3992 '19年9月20日(金) Tel/Fax 095-828-1953

おはようございます。朝晩はめっきり涼しくなりましたが昼間の暑さは相変わらずです。「暑さ寒さも彼岸まで」と言われていきますのでもう少しの辛抱です。

郵政ユニオン長崎中郵支部は今年の日曜日(22日)に第8回定期大会を開催します。

6月に発覚したかんぽ生命、日本郵便における不適切な営業問題は連日マスコミ等で報道され、郵政民営化以降最大の不祥事とされています。この問題は郵便局を含む郵政グループの信用を失墜させる行為で多くのお客様に損害を負わせたこととなります。未来でも掲載しましたが、事の全貌は明らかになっていません。背景

にはノルマ必達やパワーハラなどが常態化していたことが要因と言われているが2014年度に導入された新たな給与制度で基本給が下げられ、募集手当を増額した事も一因があります。



また、郵便関係の職場では要員不足が深刻です。この問題は郵政に限らずサービス業を中心に同様の問題が起こっています。要員不足解消の解決策として土曜休配が現実味を帯びてきました。まだ議論中ですが、早ければ来年にも実施するとの話も



あります。その他にも職場ではパワーハラやセクハラなど様々なハラスメント問題があり、労働相談も多数寄せられてきました。郵政ユニオンはそのすべての事案に真摯に対応し、労働者の立場にたった運動を展開してきました。定期大会ではこのような職場で起こっている様々な問題をしっかりと議論し、是非大会を成功させたいと思います。

## 職場の声

先週、第3集配営業部で熱中症が原因とと思われる自損事故が発生しました。概要は熱中症により、意識がもうろうとなり、対向車線を横切り歩道に乗り上げる事故で、一歩間違えれば死亡事故に繋がる事故でした。本人は水分

実際の事故の原因は間違いなく熱中症ですが、要員不足で無理な業務運行をさせている会社にも少なからず問題があります。今後の事故防止策は体調管理だけでなく、無理をしない、させない職場作りが最大の防止策ではないでしょうか。



を接取しておらず、そのことが原因のように伝えられています。3集部長の説明の中で本人が「夜勤区(通配区の補助)が廃止になり、何とか時間を作ろうと焦って仕事をしていた」との報告がありました。事故が発生させた社員は配達が早く、役職者からも頼りにされていたので、事故当日も無理をしていたのでしよう。